

## 令和 2 年度 障害者差別解消に関する周知啓発について

## 1 事業者や市民を対象とした啓発

## (1) パンフレットの作成・配布

## ①障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット

平成 28 年度に作成した「障害を理由とする差別の解消に関するパンフレット」を増刷（10,000部）し、関係機関やイベント等で配布することで、障害者差別解消に関する周知啓発を行う。

また、パンフレットを紹介するホームページを修正し、パンフレットの内容や相談先について掲載したほか、SNS においても年 4 回程度、定期的に周知を行った。



区分	配布先	配布部数	前回配布
医療機関等	4 医師会所属医療機関	8 2 0 部	H28
	歯科医師会所属医療機関	5 0 0 部	H29
	医師会・歯科医師会に所属していない医療機関	5 0 7 部	-
	薬剤師会所属薬局	3 5 0 部	H30
公共交通機関	鉄道事業者（一部）	1 9 部	H29
相談機関等	民生委員児童委員	1, 4 5 0 部	H29
	各区役所支援課	5 0 0 部	H29
	各区障害者生活支援センター	7 5 0 部	H29
企業等	市内事業者	1, 4 1 0 部	H28
	ハローワーク	6 0 0 部	H28
	飲食店（浦和区・緑区・南区エリア）	2, 7 6 0 部	-
	不動産会社	1, 0 9 5 部	H30
	合計	1 0, 7 6 1 部	

## ②合理的配慮提供促進事業

ノーマライゼーション条例に基づき、事業者が合理的配慮の提供を容易に行うことができるようにすることを目的に、事業者が行う合理的配慮の提供に要する費用の一部に対し、補助金を交付する事業を令和元年度から開始している。

今年度は、より多くの方に活用いただけるよう、以下のとおり周知を行うとともに、市報さいたま 8 月号に合理的配慮に関する説明や本補助金に関する周知の記事を掲載した他、SNS においても周知を行った。

	区分	チラシ配布先	チラシ配布部数
令和2年度 周知内訳	医療機関等	4 医師会所属医療機関	820部
		歯科医師会所属医療機関	500部
		医師会・歯科医師会に所属していない 医療機関	507部
		薬剤師会所属薬局	350部
	公共交通機 関	鉄道事業者（一部）	19部
	企業等	商工会議所（会報誌さい Biz 7月号）	—
		飲食店（浦和区・緑区・南区エリア）	2,760部
		不動産会社	1,095部
一般市民向 け	市報さいたま8月号	—	
	合計	6,051部	

## （2）イベントにおける周知

### ①大宮アルディージャ手話応援

ノーマライゼーションの普及を目的として、障害のある人もない人も一緒に大宮アルディージャを手話で応援する大宮アルディージャ手話応援において、啓発活動を実施。

日 程	令和2年9月5日（土）
会 場	NACK5スタジアム大宮 ※テレビ埼玉での中継あり
参加者	200人
内 容	試合前の市長ビデオメッセージにおいて、ノーマライゼーション条例の理念を周知。 ※例年実施している啓発ブース及びパンフレットの配布については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

### ②「障害者週間」市民のつどい

障害者への理解と関心を深めていただくとともに、障害者の社会参加の促進を図ることを目的に開催している、「障害者週間」市民のつどいにおいて、啓発活動を実施。

日 程	令和2年12月3日（木）～令和2年12月31日（木）
方 法	オンライン開催 （さいたま市ホームページ及びさいたま市障害者協議会 YouTube チャンネル）
閲覧件数	さいたま市ホームページ1,478件、YouTube 4,121件（総再生回数）
内 容	障害の理解を深める動画やダンスや演奏などのステージ動画を配信するほか、障害・難病者制作作品展をオンライン展示により行った。

### ③さいたま市ノーマライゼーションカップ

ノーマライゼーション条例とその理念を市民に周知啓発するために平成24年度から実施しているイベント。9回目となる令和2年度は、埼玉T.wings対buen cambio yokohamaによる試合をYouTubeによりライブ配信する予定。

日 程	令和3年2月20日(土)
方 法	日本ブラインドサッカー協会 YouTube チャンネルにおいて、ライブ配信。
内 容	試合ライブ配信するほか、これまでの大会の軌跡やノーマライゼーションの啓発に関する動画を配信予定。なお、試合は無観客で実施する。

### (3) 研修の実施

#### ①「障害を理由とする差別の解消に関する職員研修」の実施

日 程	令和2年11月2日～11月30日まで ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため庁内研修受講システムを使用し開催。
受講者	市職員 485名
内 容	障害者差別解消法について

アンケート 集計結果	<p><b>【研修の理解度】</b></p> <p>研修の内容は理解できましたか</p> <table border="1"> <caption>研修の内容は理解できましたか</caption> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>54.6%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【ノーマライゼーションの理解度】</b></p> <p>「ノーマライゼーション」について、理解できましたか。</p> <table border="1"> <caption>「ノーマライゼーション」について、理解できましたか。</caption> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>まあまあ理解できた</td> <td>43.5%</td> </tr> <tr> <td>あまり理解できなかった</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>理解できなかった</td> <td>0.2%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	よく理解できた	54.6%	まあまあ理解できた	44.5%	理解できなかった	0.6%	あまり理解できなかった	0.2%	理解度	割合	よく理解できた	55.3%	まあまあ理解できた	43.5%	あまり理解できなかった	1.0%	理解できなかった	0.2%
理解度	割合																				
よく理解できた	54.6%																				
まあまあ理解できた	44.5%																				
理解できなかった	0.6%																				
あまり理解できなかった	0.2%																				
理解度	割合																				
よく理解できた	55.3%																				
まあまあ理解できた	43.5%																				
あまり理解できなかった	1.0%																				
理解できなかった	0.2%																				

	<p><b>【自由記載欄（抜粋）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害種別ごとの特性を理解し対応することが大切であることは理解できた。次回研修では種別ごとの具体的なトラブル事例などがあれば教えてほしい。</li> <li>・今後も、対話による相互理解を通じて、柔軟な対応等、合理的配慮の提供に努め、ゆっくり、丁寧に、繰り返し説明するなど心がけ、業務に活かしていきたいと思ます。</li> <li>・障害のある人も、無い人も互いに助け合い、同じように暮らしていくために必要、建設的な話し合いの事例がどのような代替え案を使ったらいかが示してあり、かりやすかったです。障害のある方への対応が障害の種類別かつ具体的だったの自分がどのように対応したらいいか分かりました。新しい生活様式についても触てあり、マスクが出来ない人への対応も参考になりました。</li> <li>・コロナに伴う内容が追加されていて良かった。</li> <li>・実際に障害者への対応をする機会は少なく、研修資料を文字で読んでも実践できか不安であるため、研修資料の中でイラストを使った問題形式で「この場合はどする」等の具体的な対応を選択するようなものであれば良いかと思いました。</li> <li>・コロナウイルスの影響でオンラインでの受講となりましたが、パワーポイントたの資料だと、何が重要なのか理解を深めることが難しいところがありました。オンラインでの受講の場合、補足の説明等があるとより分かりやすくなるかと思いまので検討いただけたらと思います。</li> <li>・私は救急係長として、傷病者の方と接する機会が多く、聴覚障害の方にはコミュニケーションボードの使用等で対応しておりますが、緊急性が高い場合などでは、病者のご要望に応えられないこともあります。しかしながら、障害をお持ちの方の要望を、できる限り応えられるよう、部下にも指導し障害者の方に不都合が内容対応していくことが肝要であると感じました。緊急性や重症度が高い傷病者もめ、再度どのような対応ができるか、所属内で検討し今後の活動に活かしていきたい</li> </ul>
日 程	令和2年11月9日（月）
会 場	ときわ会館
受講者	市長、副市長、各局長等幹部職員33名
講 師	車いすバスケットボール日本代表強化指定選手 藤澤潔 選手
内 容	パラリンピックの正式種目である「車いすバスケットボール」をテーマとし、リジャネイロパラリンピックにも出場経験のある藤澤潔選手の指導のもと、車いすバスケットボールの体験を実施。

## ②「ノーマライゼーション推進市職員研修」の実施

市の幹部職員が、障害についての理解を深め、ノーマライゼーション社会の実現に向けて取り組む姿勢を市民に示すことを目的として研修を実施。